

## 緑のセンターだより

No.294 令和5年9月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## サギソウ

ラン科ミズトンボ属

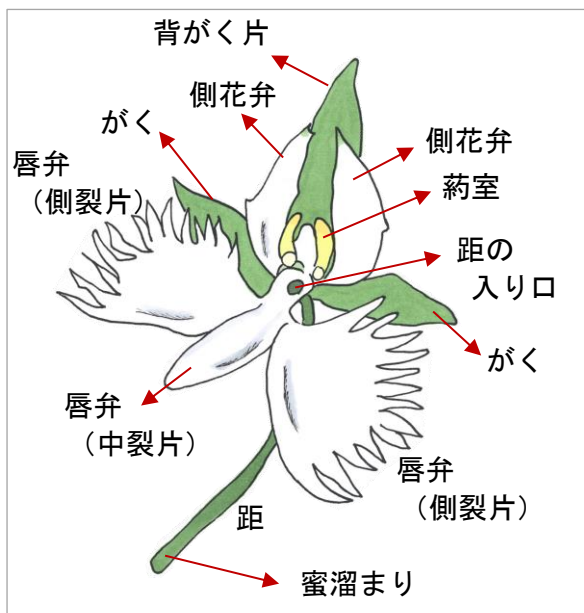
*Habenaria radiata*

鷺草のおくれ咲きしも翔けそろふ 秋櫻子

初秋の葦原から爽やかに飛び立つ白鷺に似たこの草花は、その姿から「鷺草（サギソウ）」の和名があります。ラン科ミズトンボ属の球根性多年草で、北海道や東北北緯部には自生は見られませんが、本州、四国、九州の山麓や平地の日当たりの良い湿地に自生しています。ただ、優美な姿が仇となって、乱獲が横行したり、格好の自生地であった低地の湿原などが開発・造成などによって喪失され、最近ではめっきりその数が減ってしまい、絶滅寸前の状態であると聞きます。

開花期は8月～9月とされていますが、札幌での開花が9月20日(1987年 旧札幌市農業センター調べ)となっていて、地域差は大きいようです。

サギソウの最も特徴的なところは翼に似せた唇弁（側裂片）です。この唇弁の先のギザギザが「翼」を印象させる形態であるがそれは何のために？と思うのは筆者ばかりではなかつたようです。



神戸大学理学研究室や姫路市立手柄山温室植物園などからなる研究グループが、唇弁のギザギザが受粉に関与していることを証明する実験をしました。サギソウの受粉の媒介は主にスズメガが担っています。昆虫が花から吸蜜する場合、多くは花の上でホバリングして吸蜜するようですが、サギソウは花が3～4cmと小さいうえ、密溜まりは4～5cmにも伸びた「距」の先端部です。スズメガは、唇弁のギザギザを足掛かりにして吸蜜しているのではないかと仮説したのです。そこで、ギザギザを切除した区と、しなかった区を設け、実験したそうです。切除した区ではしなかった区より明らかに健全な種子の割合が下位であったと報告しています。

この報告が証明したことは、唇弁の先端のギザギザは単に人間の視覚的ガイドでなく、スズメガの媒介作業の手助けとして存在するともいえるのではないのでしょうか。植物と媒介を担う昆虫などの間に、暗黙の了解があって、人はそれを「進化」と捉えているようですが、友人は「偶然」といいます。筆者は「必然」と思うのですが。

参考文献：「日本の野生植物」平凡社、「園芸植物大事典」小学館、「世界の植物」朝日新聞社、「園芸新智識」タキイ種苗KK、「Flower Oasis」小学館、国立大学法人神戸大学web 他



# 9月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）  
★百合が原公園 772-3511 毎週 木、日  
★平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木・花木	剪定			イチイ、マツ類などの針葉樹は上旬までに。モミジは透かし剪定程度。
		刈込み			生垣の刈込み。針葉樹は中旬以降は浅めに刈込む。
		施肥			耐寒性の弱いものにカリ肥料を施す。
		移植			ボタンは下旬～10月上旬。
	果樹	除袋			収穫20～30日前、朝早く袋内外の温度が同程度の時刻が良い。
		収穫			アメリカ系のブドウの大半(ホトトラウト、シャネルなど)。プラム、ナシ、早生リンゴなど。
	野菜	植付け			ニンニク、食用ユリ(掘り上げ・貯蔵)。
	花壇	球根植え			スイセン、クロッカス、ヒヤシンス、チューリップなどの秋植え球根の植付け。
		株分け・植付け			春夏咲き宿根草。シャクヤクは下旬以降。
		鉢上げ			ペゴニア類、パチュニア、インパチェンス、ガザニアなど、冬は室内の窓際で開花させる。
芝生	播種	種子に砂を混ぜて増量し、縦横にまく。発芽まで乾燥させない。			
	張芝			下地作り、芝張り、転圧の順に行い、しっかり灌水をして芝と土を密着させる。	
	施肥			カリ分の多い肥料が望ましい。	
室内園芸	鉢花・観葉植物	植替え			鉢土が硬いもの、根詰まりしているもの、根腐れしているものは植替え。
		入室			寒さに弱い植物から順次入室。
		病害虫防除			入室前に植物、鉢内用土の病害虫防除。
		施肥・灌水			肥料は窒素分の少ない液体肥料。クンシランは肥料・水を中止。
	洋ラン	施肥			液肥のみ。デンドロビウム・ノビル系、シースの出たカトレア類、花芽のあるシンビジウムなどには与えない。
		病害虫防除			カイガラムシ、ナメクジなど、見つけ次第捕殺する。
	多肉植物	新芽摘み	シャコバサボテン先端の若芽を摘み、開花を促す。		
		灌水・施肥			カネノナルキ、シャコバサボテンなどの肥料を中止し、水を控える。
植替え・挿し芽・株分け			夏型(サンセベリア、アロエ、カランコエ、アガベ、ユーフォルビアなど)以外のもの。		



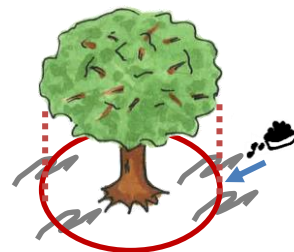
**Q** 我が家にはオンコなどの庭木とボタンなどの花木、リンゴやブドウなどの果樹が植えてあります。園芸の参考図書では、春先の施肥、花後のお礼肥、冬季の寒肥など季節の節目に肥料を施すよう記されていますが、札幌では冬に肥料はやりません。どのような肥料を、いつ頃与えるのが適切なのか教えてください。

**A** 書店に売っている参考図書は関東以西を基準に作成されているものがほとんどのため、気候が違う札幌では合わないことが多いです。札幌の春は東京より1～1.5ヵ月遅く、逆に秋はそれと同じくらい早く来ます。つまり、札幌は東京より植物の成長できる期間が2～3ヵ月短くなるので肥料の施し方も当然に異なってきます。

札幌のような寒冷地での肥料の施し方は、植物が成長を始める春先に即効性のある化成肥料（N：P：K＝8：8：8）を主体的に施すことが基本になります。花後のお礼肥や初夏に与える果実（果樹）の成長を促す追肥はリン酸やカリを中心とした肥料を施します。施肥量については、一年間で与えるべき施肥量のうち、春先の施肥で70～80%を、追肥で20～30%を施します。また、地力を維持改善するための腐葉土や牛ふんなどの堆肥は春先または秋に施用するのが良いでしょう。

次に庭木の種類別では、オンコやマツなどの針葉樹は基本的に肥料は不要です。大きな花を咲かせる花木や果樹は上述の施し方で行い、特に果樹については美味しいものを長く収穫したいなら、時期を問わないので、毎年枯草などの有機物を2kg/m<sup>2</sup>マルチングすることが望ましいです。

樹木の施肥位置



樹木の葉先の下ぐりに肥料を施す



## 豊平公園

レカンフラワーとハーバリウムの魅力

～乾燥草花のコラージュアート～

9/5（火）～9/10（日）最終日16：00まで

サボテンと多肉植物展

9/12（火）～9/18（月祝）最終日15：00まで

あけび・藤作品展

～自然からの贈り物（くらしの中のかごづくり）～

9/20（水）～9/24（日）最終日16：00まで

さつき秋季展

9/28（木）～10/1（日）最終日15：00まで

## 展示会情報

## 百合が原公園

札幌軟石と植物展

開催中～9/3（日）

盆栽展～愛好家の丹精込めた作品展～

9/16（土）～9/18（月祝）最終日15：00まで

さつき盆栽秋季展～愛好家の丹精込めた作品展～

9/20（水）～9/24（日）最終日15：00まで

ダリア展～色とりどりのダリアを紹介～

9/26（火）～10/1（日）

秋の洋ラン展～豪華絢爛！愛好家によるランの展示～

10/3（火）～10/9（月祝）最終日15：00まで

## いよいよ秋の花



花木園では9月中旬頃から1年で一番  
発色と香りがよいとされる秋バラが咲き  
始めます。

野草園では濃いピンク色のミヤギノハ  
ギや白いサラシナショウマが風に揺れ、  
秋の訪れを感じさせます。

花木園と野草園の間には八重咲の紫の  
花をつけるムクゲの木があります。



〒062-0905

豊平区豊平5条13丁目

TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線

「豊平公園」駅下車

1番出口徒歩1分

## ダリアの季節



百合が原公園の秋といえば、花色や花形  
のバリエーションが豊富なダリアの季節で  
す。「ダリア園」「リリートレイン沿線花  
壇」「世界の庭園」で160品種以上が植栽  
され、公園内を周遊するリリートレインの  
車窓からは色とりどりのダリアのほかコス  
モスもお楽しみいただけます。キレンゲ  
ショウマやサギソウ、レンゲショウマ、  
シュウメイギクなどの開花も進み、豊かな  
秋の風景が広がります。

## キレンゲショウマやミナツキ



キレンゲショウマ



ミナツキ

園内では、9月に入るとキレンゲショ  
ウマやミヤギノハギが見ごろになります。  
また、ミナツキがピンク色に変わります。



〒004-0874

清田区平岡4条3丁目

TEL 011-883-2891

地下鉄東西線

「大谷地駅」から

中央バス（大69）

「平岡4条2丁目」下車

徒歩1分



〒002-8082

北区百合が原公園210

TEL 011-772-3511

JR学園都市線

「百合が原」駅下車

徒歩7～10分

百合が原公園

# イベント情報（9月～10月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月9日(土)	13:30～	300円	40名	受付中
果樹の整枝・剪定	9月30日(土)	10:00～	300円	40名	9/12(火)～
フジ・ブドウの整枝・剪定	9月30日(土)	13:30～	300円	40名	9/12(火)～
縄結びから始める冬囲い	10月9日(月・祝)	13:30～	300円	20名	9/12(火)～
冬囲いの仕方（中級編）	10月14日(土)	13:30～	300円	20名	9/12(火)～
【ミニ園芸教室】堆肥作り	9月16日(土)	13:30～	300円	20名	9/12(火)～
【バラづくり実践講座】 ③確実に冬を越すための準備	9月24日(日)	10:00～	800円	20名	9/12(火)～
【あけび工房講習会】 山形産あけびで作る一輪挿し～秋バラ付き～	9月27日(水)	10:00～	3,800円	15名	9/12(火)～
【盆栽講座】秋の盆栽管理	10月3日(火)	13:30～	2,200円	10名	9/12(火)～
【園内自然観察会】秋の観察会	10月14日(土)	10:00～	300円	20名	9/12(火)～
【やさしい宿根草講座】特別追加回 秋植え球根のクリエイティブな種類選びと配置術	10月15日(日)	10:00～	800円	30名	9/12(火)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
ランの育て方	10月7日(土)	13:00～14:30	300円	20名	9/12(火)～
ダリアの堀上と貯蔵	10月8日(日)	10:30～12:00	500円	20名	9/12(火)～
無農薬で楽しむ北国のバラづくり ④「確実に冬を越すための準備」	10月8日(日)	13:30～15:30	800円	25名	9/12(火)～
初めての冬囲い	10月14日(土)	10:30～12:00	500円	20名	9/12(火)～
【イベント】	開催日	時間	参加費	定員	申込
お散歩ガイド	9/2(土) 9/9(土) 9/16(土) 9/23(土) 9/30(土)	13:00～14:30 センター前集合	無料	なし	不要
ぽっぴいフェスティバル	9月16日(土)	10:00～15:00	無料	なし	不要



平岡樹芸センター（みどりーむ）

☎ (011) 883-2891

<https://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

【園芸、庭作り教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
落葉樹を小さくする	9月17日(日)	10:00～	300円	30名	9/12(火)～
モミジ類の整枝・剪定	9月17日(日)	13:30～	300円	30名	9/12(火)～
樹木の冬囲い（低木）	10月8日(日)	10:00～	300円	30名	9/12(火)～
樹木の冬囲い（高木）	10月8日(日)	13:30～	300円	30名	9/12(火)～
果樹の整枝・剪定	10月15日(日)	10:00～	300円	30名	9/12(火)～
フジ・ブドウの剪定	10月15日(日)	13:30～	300円	30名	9/12(火)～
【クラフト、アレンジ講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
ミナツキのドライフラワーリース講座	10月7日(土)	10:00～	3,000円	10名	9/12(火)～
山形産あけびとふじづるのバスケット	10月14日(土)	10:30～	3,500円	15名	9/12(火)～